

奨励賞

大企業区分

日本ユニシス株式会社

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	東京都江東区豊洲 1-1-1
業種	情報通信業
社員数	4,190名(単体)、7,817名(連結)
受賞歴	なし
ウェブサイト	http://www.unisys.co.jp/

事業活動を通じた環境活動の継続啓発と、
社会課題解決に対する重要性認識の向上

取組の目的

日本ユニシスはグループ会社を含め、事業を通じて資源とエネルギーの有効活用、気候変動の対応、生物多様性に配慮した環境保全活動を推進しています。

環境活動を義務・コストとして捉えるのではなく、ビジネスとして捉えられるようにグループ全社員を啓発し、本業である ICT ソリューションを通じ、社会課題の解決につながる環境保全活動に取り組むことのできる人材育成を行っています。

取組の実績

(1) 環境教育

グループ会社を含む全社員を対象に、毎年、環境 e ラーニングを実施しています。世の中の環境活動の動向と自社の取組みの理解、環境保全の重要性の認識を目的とした内容で、社員が事業を通じた環境保全活動に取り組める教育を行っています。

(2) 働き方改革

時間・場所に制約されない働き方を目指し、全社員対象としてテレワークを展開しています。テレワークの推進により新たな就業場所の選択肢を広げ、柔軟な働き方を取り入れることで、生産性向上と移動距離削減によるエネルギー削減を見込んでいます。

(3) 環境目標

毎年、グループ会社を含む部門毎に、事業に関連する環境保全目標を設定し、全社員が環境保全目標達成に向けた取組みと活動の評価を実践しています。

(4) 地域クリーン活動

地域クリーン活動に参加することで、地域社会への美化貢献と、社員が環境保全の重要性を実感できる取組みをしています。

成果・課題

(1) 環境 e ラーニングの受講状況

毎年度実施する環境 e ラーニング受講率は 98%を越えており、ほぼ全社員が e ラーニングを受講しています。

環境 e ラーニングの受講後は、内容の理解度を確認するテストやアンケートを実施し、理解度テストでは受講者の全員が合格点を取ることができています。このことから、社員が自社の環境保全活動の重要性を理解できていると考えています。

(2) 働き方改革

2015 年度から開始している中期経営計画の一環で「働き方改革」を推進し、在宅勤務だけでなく、フリーアドレスの導入、サテライトオフィスの設置・運用を進め、社員がより効率的で適切なワークスタイルを選択し、モチベーションを高く維持しながら生産性を向上させ、働くことを実現しています。サテライトオフィス、在宅勤務ともに、利用者数は増加し続けています。

2018 年には、生産性・交通費削減など環境負荷低減に関する多様な効果をあげていることに加え、テレワーク・デイズに参加し 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、豊洲周辺の混雑・混乱に計画的に対応していることが評価され「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞しました。

(3) 環境目標

2002 年以降、部門ごとに環境目標をたてて、目標に沿った環境保全活動を行っています。当社は環境負荷が小さい業種のため目標の設定に苦心する状況でしたが、環境 e ラーニングの継続効果もあり、2016 年以降、自部門の事業内容が環境負荷低減につながる目標が増えてきています。このため、自社の環境保全活動の取組み方と重要性の認識が広がっていると判断しています。

(4) 地域クリーン活動

本社がある豊洲では社員有志が定期的に清掃活動を行っています。近年はその輪が広がり、豊洲地区の企業・団体との一斉作業に発展しています。本社だけでなく、支社支店でもさまざまなクリーンアップ活動を行っています。

今後の改善

●事業活動を通じた環境保全活動の継続的浸透

(1) 環境教育

環境負荷が小さい業種のため、社屋の LED 化、リサイクル、テレワーク、テレビ会議等の直接的な環境負荷低減への興味が根強く社内に残っている様子が、各部の環境目標から読み取れるため、ICT ソリューション提供による事業活動を通じた間接的な環境負荷低減に社員の意識を拡大させることを引き続き教育します。教育内容は環境負荷低減への間接的な効果が当社にとって本筋の環境活動であることより強調した教育内容にシフトしていきます。

(2) 環境目標

自社 ICT ソリューションが省エネ、省資源といった環境保全につながることを社員が理解した上で組織の環境目標を設定できるように、環境推進組織から目標設定について意見交換する等の支援を行います。

関連・補足情報

- ① 日本ユニシスグループサステナビリティ(環境・社会の課題取り組み、社会の持続的な発展に貢献)
<http://www.unisys.co.jp/csr/index.html>
- ② 環境目標設定、環境教育
<https://unisys.disclosure.site/ja/themes/30#113>
- ③ 働き方改革
<https://unisys.disclosure.site/ja/themes/69#157>
- ④ テレワーク先駆者百選 総務大臣賞
http://www.unisys.co.jp/news/info_181105_telework.pdf
- ⑤ 地域クリーン活動
<https://unisys.disclosure.site/ja/themes/45#137>

審査委員会からの講評

環境活動をビジネス課題として捉え、その啓発の施策として、グループ会社を含む全社員を対象に、毎年度、環境 e ラーニングを実施している。受講率は 98%を越え、受講後は、理解度テストを実施し全員が合格点を取っているなど e ラーニングの結果を評価している点は優れている。

また、本業である ICT ソリューションの強みを活かした、e ラーニングの活用、全社員対象としたテレワークの推進による働き方改革による柔軟な働き方を取り入れていることも高く評価できる。

しかし、環境人材の育成としては、環境 e ラーニングの結果がどのように社員の環境保全行動の変化やその推進に具体的につながっているのかが不明なため、そこが改善されるとさらに充実した取り組みになると考えられる。